

修学旅行をすばらしいものに

校長 吉田和夫

3年生には、どの行事も「最後の」という「枕詞」(まくらことば:それ何という人は調べてみましょう。賢くなります。)が付きます。「中学校生活最後の」「義務教育最後の」という言葉も付きますね。運動会も合唱コンクールも、他の学校生活も、みんな最後の取り組みです。

特に修学旅行は、中学校生活の中で泊を伴う行事として最後で最大の行事です。これまでの校外行事も良かったでしょうが、「終わりよければ全てよし」で、最後の取り組みがうまくいけば、次の取組にも影響します。ぜひ成功させましょう。

日本に生きる人間なのに、その日本のことをよく知らないというのは、とても恥ずかしいことです。今後、国際的に活躍する機会や可能性がある皆さんにとって、日本の文化や歴史、伝統を知らず、その説明もできないのでは、日本で生活してきた意味や価値がありません。これは単に英語力の問題ではないのです。

2泊3日のかけがえのない旅行です。あらかじめ訪問する寺院や史跡をよく調べ、京都や奈良について十分理解した上で実際に観てほしいと願っています。私も日本の文化や伝統について、たとえば外国の人に英語で説明できるぐらい(無理かな?)勉強したいなと思っていますが、とにかくこの修学旅行を通して、皆で価値ある「学び」を創りましょう。

最後に、東京都の、新宿区の、四谷地区の中学生の代表である3年生として、大いなるプライドと自覚をもって行動してください。1・2年生の範(モデル)となるきちんとした行動、人に迷惑をかけないルールやマナー、高いモラル(倫理観)を身につけましょう。そして、お互いに事故や嫌な思いのすることのない、すばらしい修学旅行を目指しましょう。